



写真: 建設現場

道路の地下をのぞいてみよう



ママ 前にも話したはずだけど、道路の地下って、どうなっているんだっけ？

バスタ たしか、「水道、電気、ガス、電話線、下水道などが通っている」んだっけよね。

ママ そうだったわね。実はそのほかにも通っているものがあるの。

ノッキー わかった。もぐら！

ヤッコ あれは、通ってるんじゃないって、掘ってるでしょ！

ママ 答えは「電車」。

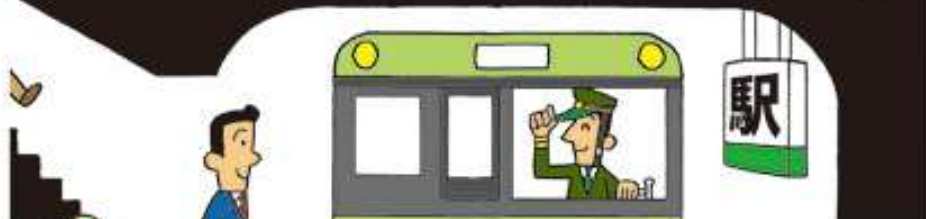
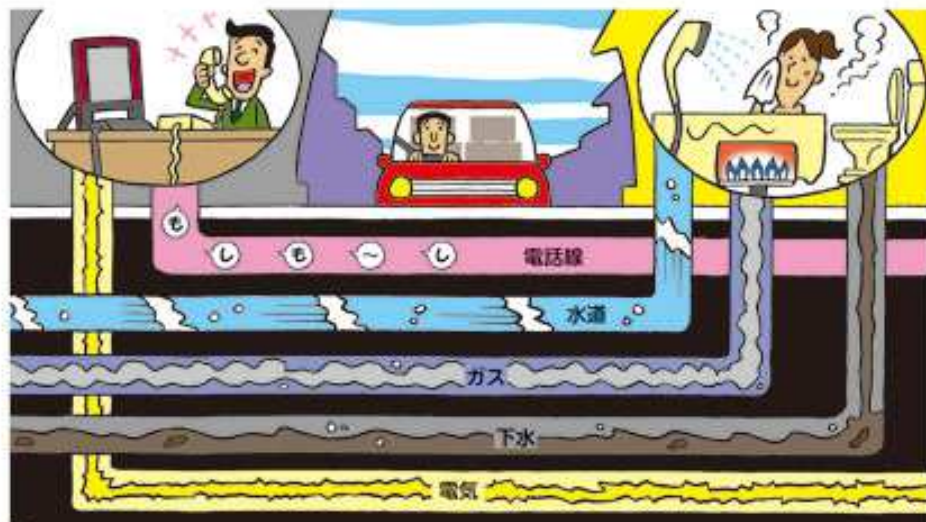
ソラチョ そうか、地下鉄だ。

ママ その通り。鉄道の路線図を見ると、道路と地下鉄は重なって書かれていることがほとんどなの。地下鉄は道路の下に建設されることが多いのよ。

ノッキー なぜかな。地下を通すなら、なんでも道路の下を通る必要はないはずだね。

ママ それはこういう理由なの。地下鉄を通すためのトンネルは、地上から下へ掘っていくわよね。ということは、地上に民家やビルなどがあると、すんなりと掘ることができないでしょう？ その点、道路なら、すぐに工事に取掛かることができるじゃない。そのため、道路の下に地下鉄を建設することが多かったのよ。

バスタ なるほど。共同溝を通したり、地下鉄が走っていたり、道路の地下って、いろいろなことに利用されているんだね。



共同溝の役割

「共同溝」を通るには、ばくだいなお金がかかります。それではどうして、わざわざ大金のかかる共同溝にする必要があるのでしょうか。1つには「街の美観の向上」ということがあげられます。「なんだ、そんなことか」と思う人もいるかもしれませんが、けれど、それはとても大切なことです。美しい日本の風景に、電柱や電線はいらないと思う人も少なくはないはずです。

次の理由として、「点検・整備が簡単」ということがあげられます。地中にうめられている水道管やガス管などのメンテナンスには、いちいち地面を掘りかえさなくてはなりません。それでは時間もおそ

もかかるため、手おくれになって大きな事故を引きおこすこともあるのです。

3つ目に「災害の被害を軽くする」という大事な点を忘れてはなりません。みなさんは、テレビなどで「台風で電柱がたおれて被害が出た」というニュースを見たことはありませんか？ また、1995年（平成7年）に起きた阪神淡路大震災では、たくさんの電柱がたおれて大きな被害を出しました。地震が起こるだけでも大災害なのに、そこに電柱の倒壊が重なると、被害はさらに大きくなります。こうしたことから、共同溝は、人びとの安全を守る役割も、なっているのです。